松原福祉館だより

**一地域で互いに支えあい助け合うまちづくりを
すすめるために－**

第 57 号
令和５年１０月発行
鹿児島市松原町２－２４
TEL・Fax　２２５－５３７４
管理運営：指定管理者
鹿児島市社会福祉協議会

一人住まいの高齢者宅への訪問活動

松原小学校の児童と松原校区社協の民生委員・児童委員等が一人住まいの高齢者宅を訪問しました。

松原校区社協の主催で、松原小学校4年生の児童と校区内の一人住まいの高齢者宅約190軒のうち約50軒を9月9日(土)に訪問し、お手紙と記念品を手渡しました。

新型コロナ感染症のため、4年ぶりの実施となりました。松原小学校に松原地区の民生委員・児童委員や松原小学校の4年生児童が集合し、これから訪問する高齢者宅を確認したあと、それぞれのグループに分かれて出発しました。児童たちの訪問を受けた一人暮らしの方々は、にこやかな表情で出迎えられ、児童が読み上げる手紙に熱心に聞き入っておられました。また来年もお元気で、新たに4年生となった児童の訪問を楽しみにしていてください。

防災についての講演会の開催（樋之口町自主防災組織）

樋之口町自主防災組織が、7月2日(日)に松原福祉館で防災についての講演会を開催し33人の方が参加しました。テーマを「あなたのハートをバリアフリーにしませんか?」とし、前半は市国際交流センター事業課長の八木さんが、後半は難聴の障害がある消防団員の園田さんがそれぞれ講師となり、講演されました。前半は、外国人に緊急の災害時に日本語でどうわかりやすく伝えるかという課題があり、やさしい日本語を使用するような心がけが大事であること、また地域でいざという時に声を掛けられるような関係づくりをしていることが望ましいという内容でした。

後半は障害者から見た社会の様子について、いろいろな問題をまとめたビデオ資料を鑑賞して考察するものでしたが、障害者の目線を持つことが大事であることを認識できる内容でした。災害弱者という言葉がありますが、災害時に地域の皆さんと支えあうために、日頃から地域で助け合いの意識をもって、顔の見える関係づくりを進めることの重要性を深く認識することができました。

福祉館での七夕飾りの制作・展示

松原福祉館では、7月7日の七夕の日から１か月 七夕飾りを玄関入口に展示しました。日頃からよく利用いただいている来館者の皆様を始め、併設している松原保育園にも、5歳児の皆様に先生たちがご指導いただき、たくさんの短冊や飾り物を制作し、飾り付けていただきました。昔ながらの創作活動をとおして、福祉館関係の方々の交流につなげることができました。

地域福祉館に公衆無線 LAN（Wi-Fi）が設置されましたのでご活用ください。

地域福祉館では、施設をご利用される方の利便性向上を目的として、館内に公衆無線LAN（Wi-Fi）を設置しました。お手持ちのパソコンやスマートフォンからインターネットに無料で接続できます。福祉活動の情報発信や交流活動などにご活用ください。

第 10 回　わくわく福祉交流フェア

11 月 12 日(日)10：00～15：30（雨天決行）

子ども、高齢者、障害者、ボランティアなど、多くの市民や福祉施設、関係団体等の参加のもとに、多彩な催しを通して相互交流するなかで、福祉交流やボランティアの活動を広げることを目的に、かんまちあ、天文館シネマパラダイスで開催します。

赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします！

運動期間：１０月１日～１２月３１日

今年も 10 月１日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。

寄せられました募金は、住民相互の助け合いを基調として、地域の福祉活動やボランティア団体等が行う活動の支援、また、災害時には被災地の支援などにも活用されます。